

北星信用金庫  
景況レポート

地域企業景気動向調査 / 令和6年8月(発行)  
第56回

Purpose

Fire Financial Independence, Retire Early

DX Digital Transformation

SDGs

ESG

Fintech

Business

Blockchain

# 第 56 回 地域企業景気動向調査

1. 調査地域 2市5町1村  
(名寄市・士別市・美深町・下川町・中川町・剣淵町・和寒町・音威子府村)
2. 調査時点 令和6年7月
3. 調査内容 令和6年1月～6月の実績  
令和6年7月～12月の見通し
4. 調査方法 北星信用金庫本支店職員による面接聞き取り
5. 調査協力 この景気動向調査は名寄市・士別市・ハローワークなよろ・一般社団法人日本自動車販売協会連合会旭川支部の協力をいただいております。
6. 調査対象  
企業数 150社

業 種	調 査 先 数	回答数 (件)	回答率 (%)
製 造 業	18	17	94.4
卸・小売業	46	45	97.8
サービス業	38	38	100.0
建 設 業	32	32	100.0
運輸通信業	16	16	100.0
総 計	150	148	98.7

7. 分析方法 DI判断指数 = 「好転 (上昇)」とした企業から「悪化 (下降)」とした企業割合を差し引いた業況判断指数。

(注) 字句の説明

1. DI (Diffusion Index)

DIとは、増加企業割合から減少企業割合を引いた数値で、どちらの力が強いかを比べて、景気がどの方向に向かいつつあるかを時系列的にみる方法です。

$DI > 0$  → 好景気傾向、 $DI = 0$  → 景気横ばい傾向、 $DI < 0$  → 不景気傾向

(例) 前回に比べて増加企業割合30%、変わらなかった企業割合50%、減少した企業割合20%の場合、DIは $30\% - 20\% = 10\%$  (好景気傾向) となります。

なお、DI値における前回調査結果と今回調査結果との比較により、プラス幅が拡大→景気上昇、プラス幅が縮小→(好景気傾向だが)景気下降、変動なし→景気横ばい、マイナス幅が縮小→(不景気傾向だが)景気上昇、マイナス幅が拡大→景気下降と判断します。

2. 期間

(1) 前期と比較した場合…直前の6ヶ月間との比較

(2) 昨年の同期と比較した場合…前年の同期と比較

# 全業種総合

148企業（回答率98.7%）の調査結果です。

## ◇ 概況

日本銀行旭川事務所が令和6年7月に公表した金融経済概況による道北地域の景気は、一部に弱めの動きがみられますが、持ち直しています。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、堅調に推移しており、観光は回復しています。公共投資は高水準で推移しており、住宅投資は減少しています。この間、雇用情勢は緩やかに改善しているとの見解を示しております。

一方、当地区における建築確認申請件数は、令和6年1月～6月中の申請で、名寄市で36件（前年同期比14件の減少）、うち住宅12件（同13件の減少）、士別市で25件（同5件の減少）、うち住宅15件（同5件の減少）となっています。

調査地域の新車登録台数は489台（前年同期比110台の減少）となっています。

農業についてはもち米農家が高齢化・後継者不足により、昨年よりも戸数減少していますが、作付面積には変動がなく一戸あたりの作付面積が拡大している状況です。近年豊作が続いているため、今年も期待を寄せているところです。豆類、甜菜糖は5月末からの低気温が生育に影響を及ぼした先もありましたが、最近は回復傾向との事です。

公共工事においては減少となった地区が多い状況です。

運輸業においては2024年問題による労働時間の規制や、燃料価格の上昇により売上減少となりました。

経営上の問題点として「売上の停滞・減少」、「人手不足」、「原材料・燃料価格の上昇」が上位を占めており、前回調査より、「売上の停滞・減少」で0.7ポイント増加、「人手不足」で1.9ポイント減少、「原材料・燃料価格の上昇」で0.4ポイント減少しました。

当面の重点経営施策では、「経費を節減する」、「人材を確保・育成する」、「販路を広げる」が上位を占めており、前回調査と同様の動きとなっております。

全業種総合の来期見通しDI値を見てみると、多くの主要DI値で好転が予想されています。

人材マッチングサービスの利用により外部人材と協働し地域課題の解決に取り組む自治体や、移住者の新規創業の支援を推進することにより、移住者の定住、地域活性化を目指す自治体など、各自治体によって取組は様々です。

## ◇ 各地域の動き、主要産業等の動向

名寄市： 名寄市風連町では公営住宅の老朽化による団地の新築工事が数年間で計画され、令和6年度は3棟の新築工事が行われています。

令和5年11月23日に取扱いを開始した名寄市電子地域通貨『Yoroca』は、市内加盟店舗や、チャージ機設置場所も増えており、市民の生活に浸透し始めています。

士別市： 士別商工会議所の会員数は2014年には627事業所ありましたが、2023年には521事業所と、この10年間で100事業所を超す会員数の減少となりました。また、慢性的に人手不足の状況である一方で、仕事量も少なく、短期的にはそれほどひっ迫感はない業種も見受けられます。

士別市朝日町の喫茶店で士別産大豆を使用した加工品が商品化され、この度旭川の大手菓子店のスイーツに利用されることが決まりました。

HFL（北海道フロンティアリーグ）は、北海道の全振興局14か所にプロ野球チームを作る計画があり、野球関係者を全国から募り、北海道の交流人口・関係人口の増加を図り、移住定住の促進や野球を続けながらも地域の担い手として活動してもらおうことが目的です。

町村地区： 美深町では飲食関係の新規開業及び異業種参入が続き、飲食店舗はここ2、3年で増加しています。今年度も1件の新規開業があり、今後も2件の新規開業を予定しております。

下川町では都市部からの移住者相談が毎年一定数あり、新規創業や定住となるケースも少なからずあることから、町としても期待を寄せている状況です。

中川・音威子府間のバイパス工事は、トンネル貫通により、附带工事だけになっており、地元への恩恵は縮小しています、同工事については令和7年に当区間開通の見込みですが、中川町から北に向かうバイパスの延長工事が決まり、今後の経済効果が見込まれています。

中川町では町の取り組みで起業型地域おこし協力隊を採用しており、事業者の増加に期待しています。

音威子府村では人材マッチングサービスを利用し、外部人材と協働することにより、地域課題の解決に向けて取り組んでいます。

剣淵町では町の特産品として期待されているキヌアがメディア媒体採り上げや大手企業での社食利用の効果も徐々に表れており、新たな納品先が増え多忙な状況にあります。

和寒町は「ふくしのまちづくり基本構想」に基づく特別養護老人ホームを中心とした複合施設建替えの基本計画を公表しました。令和8年度着工・令和9年度末までに完成、令和10年度には運用開始を計画しています。

◎今期（令和6年1月～6月）における主要D I 値の推移（対前期比）

業況D I 値は、 △23.0で、14.1ポイント減と悪化しました。  
 売上額D I 値は、 △23.6で、29.1ポイント減と悪化しました。  
 収益D I 値は、 △36.5で、30.3ポイント減と悪化しました。  
 販売価格D I 値は、 41.2で、 6.7ポイント減と下降しました。  
 仕入価格D I 値は、 76.4で、 1.7ポイント増と上昇しました。  
 資金繰りD I 値は、 △16.2で、10.0ポイント減と悪化しました。  
 人手D I 値は、 △43.2で、12.3ポイント増と好転しました。  
 設備投資D I 値は、 △11.5で、 4.3ポイント増と好転しました。

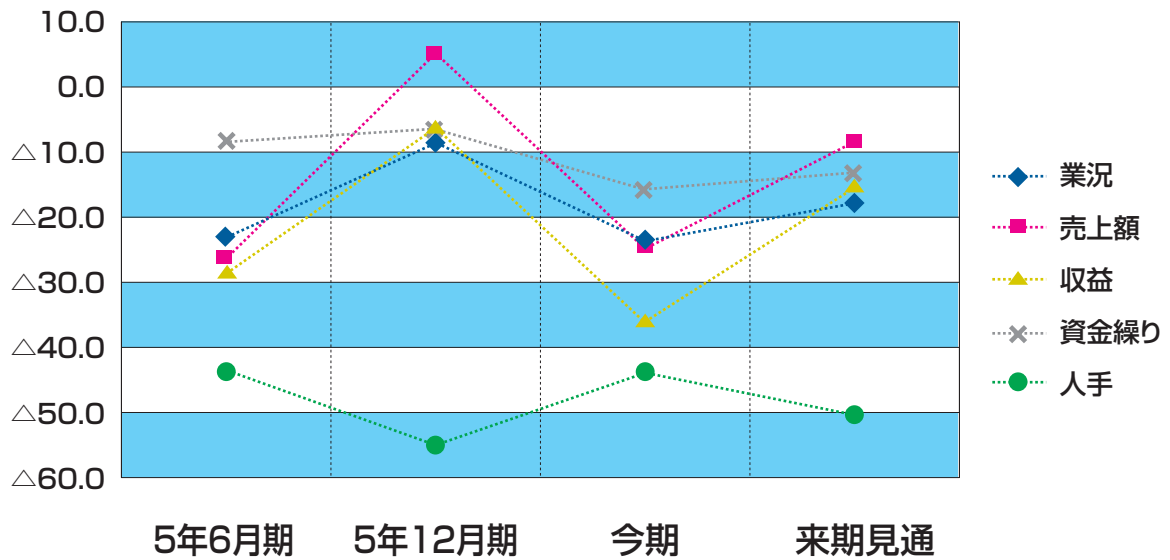
◎来期（令和6年7月～12月）における主要D I 値の見通し（対今期比）

業況D I 値は、 △18.2で、 4.8ポイント増と好転の見通しです。  
 売上額D I 値は、 △ 8.8で、14.8ポイント増と好転の見通しです。  
 収益D I 値は、 △15.5で、21.0ポイント増と好転の見通しです。  
 販売価格D I 値は、 33.8で、 7.4ポイント減と下降の見通しです。  
 仕入価格D I 値は、 64.2で、12.2ポイント減と下降の見通しです。  
 資金繰りD I 値は、 △12.8で、 3.4ポイント増と好転の見通しです。  
 人手D I 値は、 △50.7で、 7.5ポイント減と悪化の見通しです。  
 設備投資D I 値は、 △10.1で、 1.4ポイント増と好転の見通しです。

【D I 値】

	5年6月期	5年12月期	今期(6年6月期)	来期見通
業況	△22.4	△8.9	△23.0	△18.2
売上額	△26.5	5.5	△23.6	△8.8
収益	△28.6	△6.2	△36.5	△15.5
販売価格	48.3	47.9	41.2	33.8
仕入価格	74.1	74.7	76.4	64.2
在庫	0.0	2.7	△1.4	△0.7
資金繰り	△8.8	△6.2	△16.2	△12.8
残業時間	△10.9	△2.1	△12.8	0.0
人手	△44.2	△55.5	△43.2	△50.7
設備投資	△13.6	△15.8	△11.5	△10.1

## 全業種総合



### ◆設備投資動向

#### 【今期】

実施	未実施	無回答
54社	85社	9社

◎車両	23件
◎機械・設備の新・増設	15件
◎機械・設備の更改	11件
◎事務機器	10件
◎事業用土地・建物	7件
◎その他	9件

#### 【来期】

実施	未実施	無回答
43社	97社	8社

◎車両	23件
◎機械・設備の新・増設	10件
◎事業用土地・建物	7件
◎機械・設備の更改	7件
◎事務機器	6件
◎その他	6件

### ◆経営上の問題点と施策

【複数回答】(単位：%)

	1位	2位	3位
【問題点】	売上の停滞・減少 65件 43.9	人手不足 63件 42.6	原材料・燃料価格の上昇 47件 31.8

	1位	2位	3位
【施策】	経費を節減する 79件 53.4	人材を確保・育成する 73件 49.3	販路を広げる 25件 16.9

# 製造業

17企業（回答率94.4%）の調査結果です。

◇ 概況 主要DI値は原材料価格DI値、人手DI値において好転し、その他の項目で悪化となりました。

一方、来期見通しは、人手DI値は悪化の見通しとなっており、原材料価格DI値は横ばい、その他の項目においては好転を見込んでいます。

経営上の問題点として「原材料高」、「売上の停滞・減少」、「利幅の縮小」、「人件費以外の経費の増加」、主な施策として「経費を節減する」、「販路を広げる」、「情報力を強化する」が上位を占めています。

◎今期（令和6年1月～6月）における主要DI値の推移（対前期比）

業況DI値は、 $\Delta 47.1$ で、5.9ポイント減と悪化しました。  
 売上額DI値は、 $\Delta 35.3$ で、11.8ポイント減と悪化しました。  
 収益DI値は、 $\Delta 58.8$ で、23.5ポイント減と悪化しました。  
 原材料価格DI値は、52.9で、11.8ポイント減と下降しました。  
 人手DI値は、 $\Delta 23.5$ で、29.4ポイント増と好転しました。

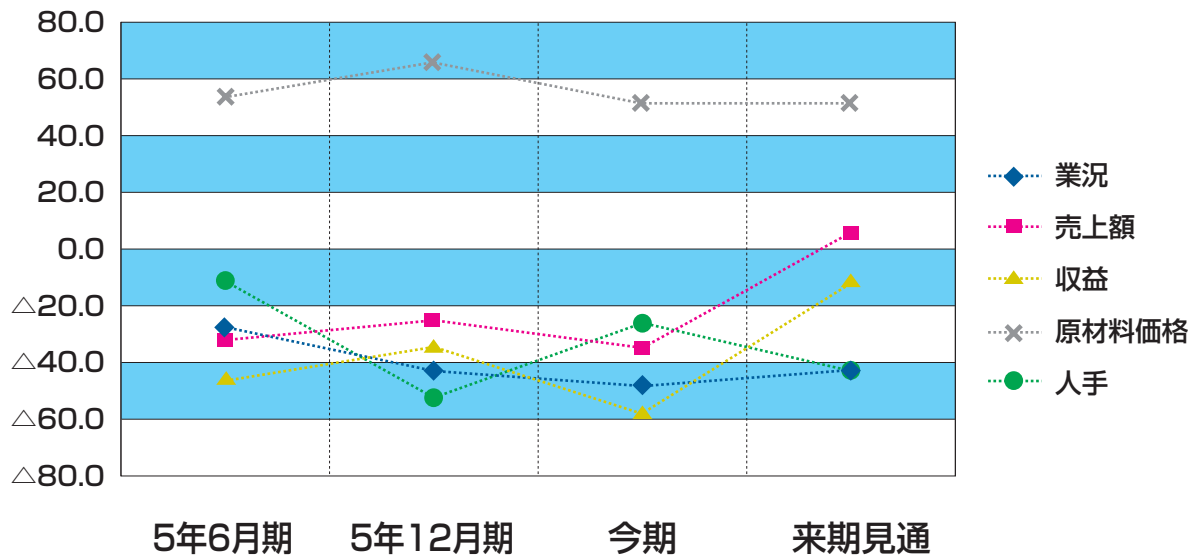
◎来期（令和6年7月～12月）における主要DI値の見通し（対今期比）

業況DI値は、 $\Delta 41.2$ で、5.9ポイント増と好転の見通しです。  
 売上額DI値は、5.9で、41.2ポイント増と好転の見通しです。  
 収益DI値は、 $\Delta 11.8$ で、47.0ポイント増と好転の見通しです。  
 原材料価格DI値は、52.9で、増減なく、横ばいの見通しです。  
 人手DI値は、 $\Delta 41.2$ で、17.7ポイント減と悪化の見通しです。

## 【DI値】

	5年6月期	5年12月期	今期(6年6月期)	来期見通
業況	$\Delta 27.8$	$\Delta 41.2$	$\Delta 47.1$	$\Delta 41.2$
売上額	$\Delta 33.3$	$\Delta 23.5$	$\Delta 35.3$	5.9
受注残	$\Delta 38.9$	$\Delta 11.8$	$\Delta 47.1$	0.0
収益	$\Delta 44.4$	$\Delta 35.3$	$\Delta 58.8$	$\Delta 11.8$
販売価格	27.8	35.3	35.3	23.5
原材料価格	55.6	64.7	52.9	52.9
原材料在庫	5.6	$\Delta 11.8$	0.0	11.8
資金繰り	$\Delta 22.2$	$\Delta 17.6$	$\Delta 41.2$	$\Delta 41.2$
残業時間	$\Delta 27.8$	$\Delta 17.6$	$\Delta 5.9$	0.0
人手	$\Delta 11.1$	$\Delta 52.9$	$\Delta 23.5$	$\Delta 41.2$
設備投資	61.1	58.8	41.2	41.2

## 製 造 業



### ◆設備投資動向

#### 【今期】

実施 3社	未実施 13社	無回答 1社
----------	------------	-----------

- ◎機械・設備の新・増設 1件
- ◎事務機器 1件
- ◎車両 1件

#### 【来期】

実施 1社	未実施 15社	無回答 1社
----------	------------	-----------

- ◎機械・設備の更改 1件

### ◆経営上の問題点と施策

【複数回答】(単位：%)

	1位		2位		3位	
【問題点】	原材料高 10件 58.8		売上の停滞・減少 6件 35.3		利幅の縮小 5件 29.4	
					人件費以外の経費の増加 5件 29.4	

	1位		2位		3位	
【施策】	経費を節減する 8件 47.1		販路を広げる 7件 41.2		情報力を強化する 6件 35.3	



## 卸・小売業

45企業（回答率 97.8%）の調査結果です。

◇ 概況 主要D I値は対前期比、人手D I値は好転、その他の項目においては悪化となりました。

一方、来期見通しは、収益D I値は好転の見通しですが、その他の項目においては悪化の見通しとなっております。

経営上の問題点として「売上の停滞・減少」、「人手不足」、「商圈人口の減少」、「仕入先からの値上げ要請」、主な施策として「経費を節減する」、「人材を確保・育成する」、「品揃えを改善する」が上位を占めています。

### ◎今期（令和6年1月～6月）における主要D I値の推移（対前期比）

業況D I値は、 △20.0で、 8.6ポイント減と悪化しました。  
 売上額D I値は、 △11.1で、 20.2ポイント減と悪化しました。  
 収益D I値は、 △33.3で、 35.6ポイント減と悪化しました。  
 販売価格D I値は、 68.9で、 8.4ポイント減と下降しました。  
 人手D I値は、 △31.1で、 12.1ポイント増と好転しました。

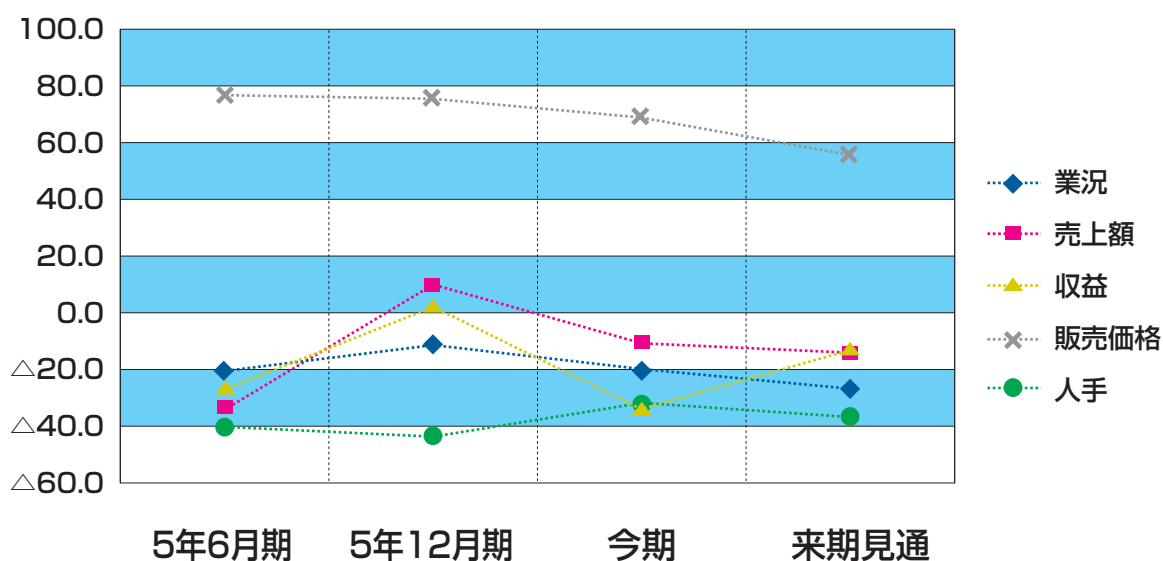
### ◎来期（令和6年7月～12月）における主要D I値の見通し（対今期比）

業況D I値は、 △24.4で、 4.4ポイント減と悪化の見通しです。  
 売上額D I値は、 △15.6で、 4.5ポイント減と悪化の見通しです。  
 収益D I値は、 △13.3で、 20.0ポイント増と好転の見通しです。  
 販売価格D I値は、 57.8で、 11.1ポイント減と下降の見通しです。  
 人手D I値は、 △37.8で、 6.7ポイント減と悪化の見通しです。

### 【D I値】

	5年6月期	5年12月期	今期(6年6月期)	来期見通
業況	△20.0	△11.4	△20.0	△24.4
売上額	△33.3	9.1	△11.1	△15.6
収益	△24.4	2.3	△33.3	△13.3
販売価格	77.8	77.3	68.9	57.8
仕入価格	86.7	86.4	84.4	62.2
在庫	2.2	13.6	0.0	△2.2
資金繰り	△4.4	△6.8	△17.8	△15.6
残業時間	△2.2	△2.3	△2.2	4.4
人手	△40.0	△43.2	△31.1	△37.8
設備投資	△22.2	△15.9	△15.6	△11.1

## 卸・小売業



### ◆設備投資動向

#### 【今期】

実施	未実施	無回答
9社	33社	3社

◎事務機器	3件
◎事業用土地・建物	2件
◎車両	1件
◎その他	5件

#### 【来期】

実施	未実施	無回答
13社	31社	1社

◎車両	7件
◎事業用土地・建物	5件
◎事務機器	3件
◎その他	4件

### ◆経営上の問題点と施策

【複数回答】（単位：％）

	1位		2位		3位			
【問題点】	売上の停滞・減少		人手不足		商圏人口の減少		仕入先からの値上げ要請	
	25件	55.6	15件	33.3	11件	24.4	11件	24.4

	1位		2位		3位	
【施策】	経費を節減する		人材を確保・育成する		品揃えを改善する	
	27件	60.0	15件	33.3	13件	28.9

# サービス業

38企業（回答率 100%）の調査結果です。

◇ 概 況 主要D I 値は対前期比、人手D I 値は好転、その他の項目においては悪化となりました。

一方、来期見通しは、収益D I 値、材料価格D I 値は好転の見通しですが、業況D I 値は横ばい、売上額D I 値、人手D I 値においては悪化の見通しとなっております。

経営上の問題点として「材料価格の上昇」、「売上の停滞・減少」、「人手不足」、主な施策として「経費を節減する」、「人材を確保・育成する」、「技術力を強化する」が上位を占めています。

## ◎今期（令和6年1月～6月）における主要D I 値の推移（対前期比）

業況D I 値は、  $\Delta 26.3$ で、10.5ポイント減と悪化しました。  
 売上額D I 値は、  $\Delta 15.8$ で、5.3ポイント減と悪化しました。  
 収益D I 値は、  $\Delta 36.8$ で、15.7ポイント減と悪化しました。  
 材料価格D I 値は、 78.9で、10.5ポイント増と上昇しました。  
 人手D I 値は、  $\Delta 36.8$ で、2.7ポイント増と好転しました。

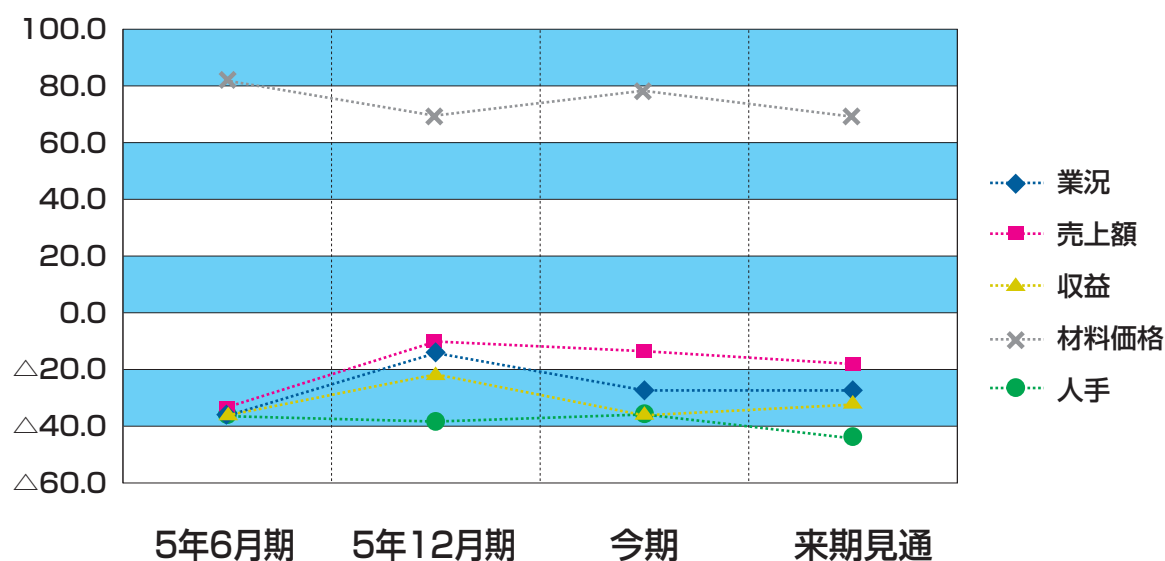
## ◎来期（令和6年7月～12月）における主要D I 値の見通し（対今期比）

業況D I 値は、  $\Delta 26.3$ で、増減なく、横ばいの見通しです。  
 売上額D I 値は、  $\Delta 18.4$ で、2.6ポイント減と悪化の見通しです。  
 収益D I 値は、  $\Delta 31.6$ で、5.2ポイント増と好転の見通しです。  
 材料価格D I 値は、 68.4で、10.5ポイント減と下降の見通しです。  
 人手D I 値は、  $\Delta 42.1$ で、5.3ポイント減と悪化の見通しです。

## 【D I 値】

	5年6月期	5年12月期	今期(6年6月期)	来期見通
業 況	$\Delta 37.8$	$\Delta 15.8$	$\Delta 26.3$	$\Delta 26.3$
売 上 額	$\Delta 35.1$	$\Delta 10.5$	$\Delta 15.8$	$\Delta 18.4$
収 益	$\Delta 37.8$	$\Delta 21.1$	$\Delta 36.8$	$\Delta 31.6$
料 金 価 格	43.2	28.9	21.1	15.8
材 料 価 格	81.1	68.4	78.9	68.4
資 金 繰 り	$\Delta 18.9$	$\Delta 5.3$	$\Delta 15.8$	$\Delta 7.9$
残 業 時 間	$\Delta 13.5$	$\Delta 2.6$	$\Delta 5.3$	$\Delta 5.3$
人 手	$\Delta 37.8$	$\Delta 39.5$	$\Delta 36.8$	$\Delta 42.1$
設 備 投 資	$\Delta 10.8$	$\Delta 18.4$	$\Delta 18.4$	$\Delta 18.4$

## サービス業



### ◆設備投資動向

#### 【今期】

実施	未実施	無回答
16社	18社	4社

◎機械・設備の新・増設	6件
◎車両	5件
◎事業用土地・建物	4件
◎機械・設備の更改	3件
◎事務機器	2件
◎その他	2件

#### 【来期】

実施	未実施	無回答
7社	27社	4社

◎機械・設備の新・増設	3件
◎車両	2件
◎事業用土地・建物	1件
◎事務機器	1件
◎その他	2件

### ◆経営上の問題点と施策

【複数回答】(単位：%)

	1位	2位	3位
【問題点】	材料価格の上昇 19件 50.0	売上の停滞・減少 18件 47.4	人手不足 14件 36.8

	1位	2位	3位
【施策】	経費を節減する 22件 57.9	人材を確保・育成する 18件 47.4	技術力を強化する 9件 23.7

# 建設業

32企業（回答率100%）の調査結果です。

◇ 概況 主要DI値は対前期比、人手DI値は好転、その他の項目においては悪化となりました。

来期については人手DI値は悪化の見通し、その他の項目においては好転の見通しとなっております。

経営上の問題点として「人手不足」、「従業員の高齢化」、「材料価格の上昇」、主な施策として「人材を確保・育成する」、「経費を節減する」、「技術力を高める」が上位を占めています。

## ◎今期（令和6年1月～6月）における主要DI値の推移（対前期比）

業況DI値は、△6.3で、18.8ポイント減と悪化しました。  
 売上額DI値は、△40.6で、65.6ポイント減と悪化しました。  
 収益DI値は、△34.4で、37.5ポイント減と悪化しました。  
 材料価格DI値は、81.3で、3.2ポイント増と上昇しました。  
 人手DI値は、△81.3で、6.2ポイント増と好転しました。

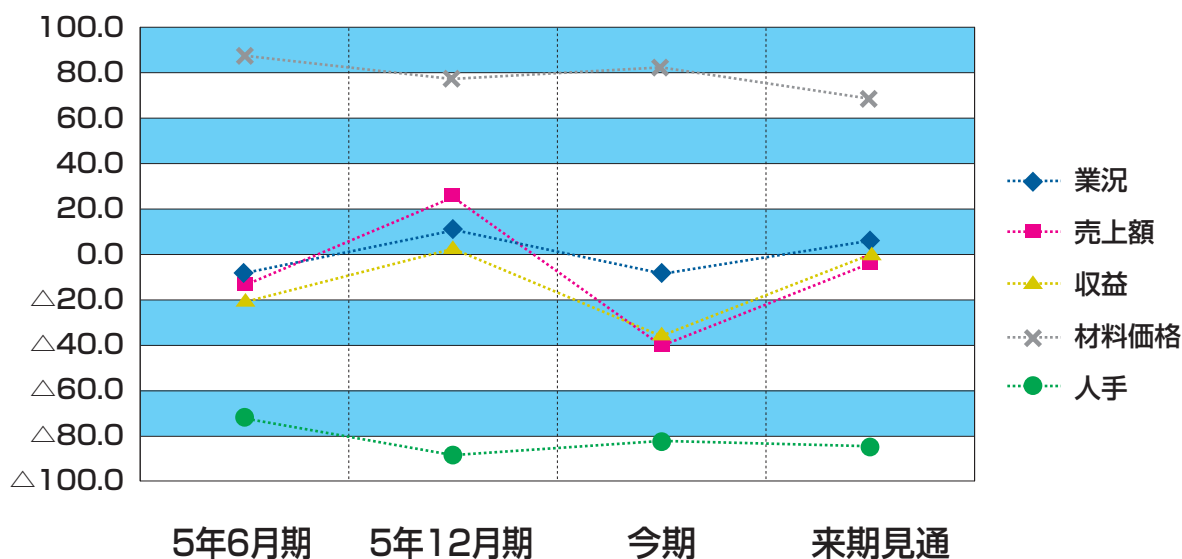
## ◎来期（令和6年7月～12月）における主要DI値の見通し（対今期比）

業況DI値は、6.3で、12.6ポイント増と好転の見通しです。  
 売上額DI値は、△3.1で、37.5ポイント増と好転の見通しです。  
 収益DI値は、0.0で、34.4ポイント増と好転の見通しです。  
 材料価格DI値は、68.8で、12.5ポイント減と下降の見通しです。  
 人手DI値は、△84.4で、3.1ポイント減と悪化の見通しです。

## 【DI値】

	5年6月期	5年12月期	今期(6年6月期)	来期見通
業況	△6.3	12.5	△6.3	6.3
売上額	△12.5	25.0	△40.6	△3.1
受注残	△6.3	0.0	△37.5	0.0
施工高	△18.8	21.9	△43.8	△3.1
収益	△21.9	3.1	△34.4	0.0
請負価格	18.8	50.0	28.1	34.4
材料価格	87.5	78.1	81.3	68.8
在庫	△6.3	0.0	△6.3	△6.3
資金繰り	9.4	9.4	3.1	9.4
残業時間	△9.4	△3.1	△37.5	0.0
人手	△71.9	△87.5	△81.3	△84.4
設備投資	△12.5	△12.5	△9.4	△6.3

## 建設業



### ◆設備投資動向

#### 【今期】

実施	未実施	無回答
15社	16社	1社

◎車両	9件
◎機械・設備の新・増設	6件
◎機械・設備の更改	4件
◎事務機器	4件
◎事業用土地・建物	1件
◎その他	1件

#### 【来期】

実施	未実施	無回答
14社	17社	1社

◎車両	9件
◎機械・設備の新・増設	6件
◎機械・設備の更改	4件
◎事務機器	2件
◎事業用土地・建物	1件

### ◆経営上の問題点と施策

【複数回答】(単位：%)

	1位	2位	3位
【問題点】	人手不足 25件 78.1	従業員の高齢化 18件 56.3	材料価格の上昇 12件 37.5

	1位	2位	3位
【施策】	人材を確保・育成する 28件 87.5	経費を節減する 13件 40.6	技術力を高める 8件 25.0

# 運輸通信業

16企業（回答率 100%）の調査結果です。

◇ 概 況 主要D I 値は対前期比、人手D I 値は好転、その他の項目においては悪化となりました。

来期のD I 値は人手D I 値は悪化、燃料価格D I 値は横ばいの見通しで、その他の項目においては好転の見通しとなっております。

経営上の問題点として「人手不足」、「売上の停滞・減少」、「従業員の高齢化」、「燃料価格の上昇」、主な施策として「経費を節減する」、「人材を確保・育成する」、「販路を広げる」、「労働条件を改善する」が上位を占めています。

## ◎今期（令和6年1月～6月）における主要D I 値の推移（対前期比）

業況D I 値は、  $\Delta 31.3$ で、38.0ポイント減と悪化しました。  
 売上額D I 値は、  $\Delta 31.3$ で、58.0ポイント減と悪化しました。  
 収益D I 値は、  $\Delta 25.0$ で、45.0ポイント減と悪化しました。  
 燃料価格D I 値は、 62.5で、 2.5ポイント増と上昇しました。  
 人手D I 値は、  $\Delta 37.5$ で、29.2ポイント増と好転しました。

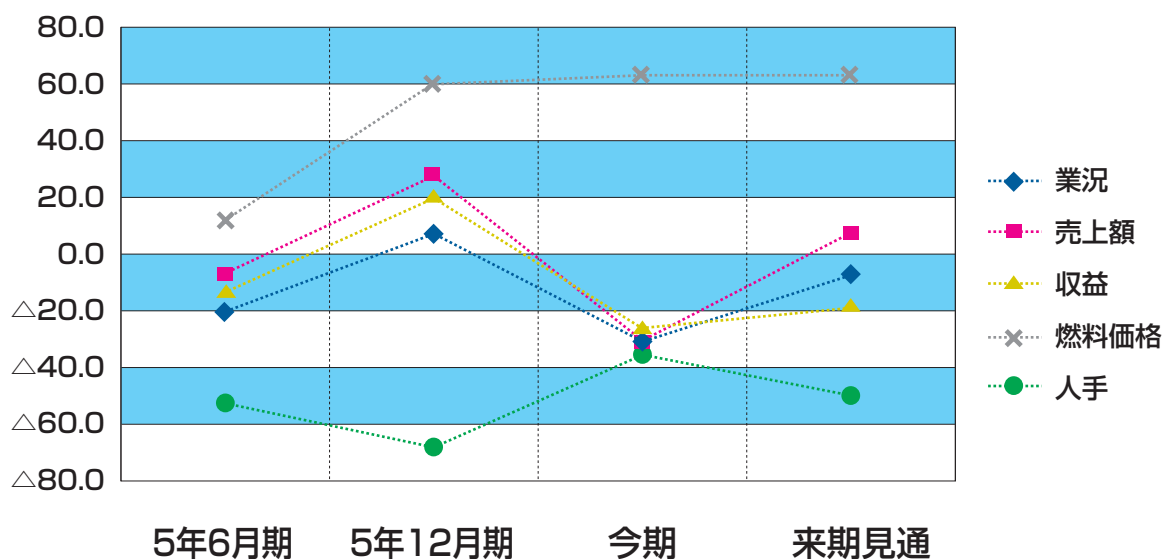
## ◎来期（令和6年7月～12月）における主要D I 値の見通し（対今期比）

業況D I 値は、  $\Delta 6.3$ で、25.0ポイント増と好転の見通しです。  
 売上額D I 値は、 6.3で、37.6ポイント増と好転の見通しです。  
 収益D I 値は、  $\Delta 18.8$ で、 6.2ポイント増と好転の見通しです。  
 燃料価格D I 値は、 62.5で、増減なく、横ばいの見通しです。  
 人手D I 値は、  $\Delta 50.0$ で、12.5ポイント減と悪化の見通しです。

## 【D I 値】

	5年6月期	5年12月期	今期(6年6月期)	来期見通
業 況	$\Delta 20.0$	6.7	$\Delta 31.3$	$\Delta 6.3$
売 上 額	$\Delta 6.7$	26.7	$\Delta 31.3$	6.3
収 益	$\Delta 13.3$	20.0	$\Delta 25.0$	$\Delta 18.8$
料 金 価 格	60.0	20.0	43.8	18.8
燃 料 価 格	13.3	60.0	62.5	62.5
資 金 繰 り	$\Delta 20.0$	$\Delta 26.7$	$\Delta 25.0$	$\Delta 31.3$
残 業 時 間	$\Delta 13.3$	20.0	$\Delta 18.8$	0.0
人 手	$\Delta 53.3$	$\Delta 66.7$	$\Delta 37.5$	$\Delta 50.0$
設 備 投 資	$\Delta 13.3$	$\Delta 20.0$	$\Delta 6.3$	$\Delta 12.5$

## 運輸通信業



### ◆設備投資動向

#### 【今期】

実施	未実施
11社	5社

◎車両	7件
◎機械・設備の更改	4件
◎機械・設備の新・増設	2件
◎その他	1件

#### 【来期】

実施	未実施	無回答
8社	7社	1社

◎車両	5件
◎機械・設備の更改	2件
◎機械・設備の新・増設	1件

### ◆経営上の問題点と施策

【複数回答】(単位：%)

【問題点】	1位		2位								
	人手不足	7件	43.8	売上の停滞・減少	6件	37.5	従業員の高齢化	6件	37.5	燃料価格の上昇	6件

【施策】	1位				3位						
	経費を節減する	9件	56.3	人材を確保・育成する	9件	56.3	販路を広げる	4件	25.0	労働条件を改善する	4件

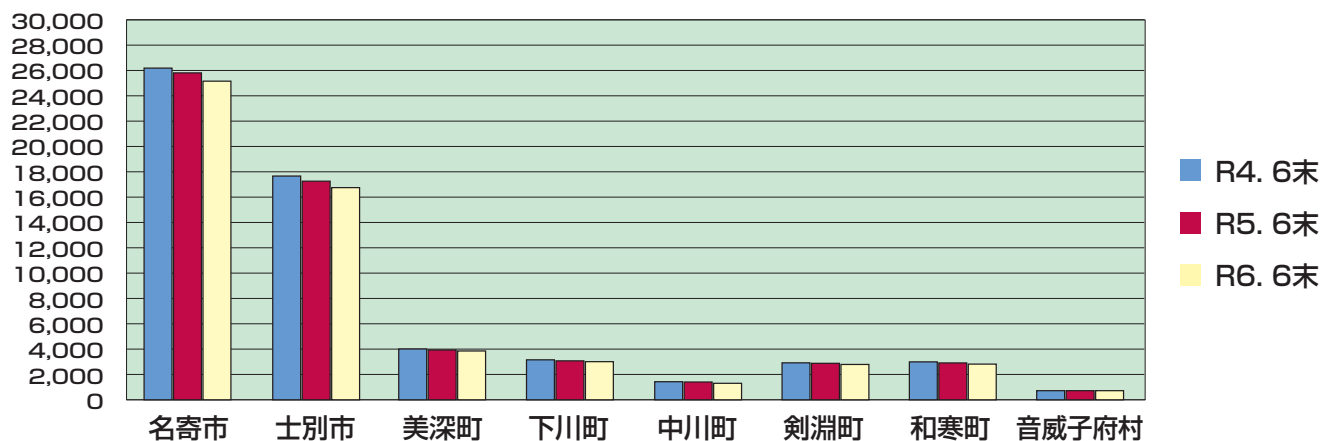


# 地区内のデータベース

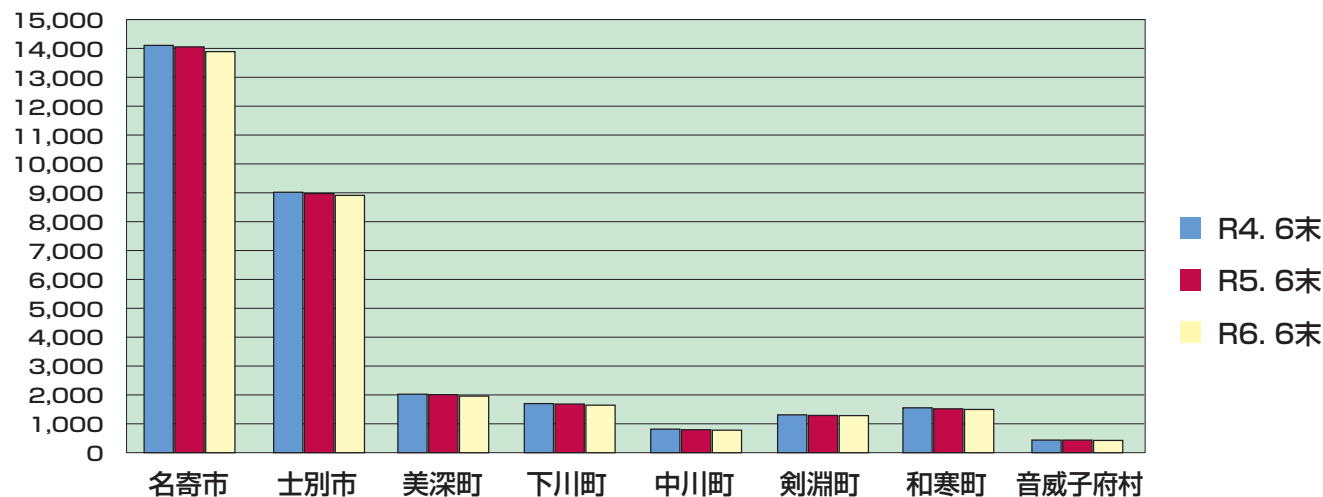
## 人口・世帯数動向（令和6年6月末現在）

市 町 村	人 口			世 帯 数		
	令和5年6月	令和6年6月	対前年比	令和5年6月	令和6年6月	対前年比
名 寄 市	25,600	25,000	▲ 600	14,090	13,855	▲ 235
士 別 市	17,055	16,648	▲ 407	8,937	8,825	▲ 112
美 深 町	3,845	3,741	▲ 104	2,084	2,052	▲ 32
下 川 町	2,976	2,866	▲ 110	1,648	1,614	▲ 34
中 川 町	1,300	1,292	▲ 8	719	719	0
剣 淵 町	2,849	2,760	▲ 89	1,422	1,404	▲ 18
和 寒 町	2,956	2,842	▲ 114	1,518	1,478	▲ 40
音 威 子 府 村	654	622	▲ 32	447	432	▲ 15
合 計	57,235	55,771	▲ 1,464	30,865	30,379	▲ 486

### 人 口



### 世 帯 数



## 建築確認申請

		件数	前年同期比 (件数)
名寄市	R5年1月～ R5年6月中 の申請	50 (内住宅 25)	4 (内住宅 ▲1)
	R5年7月～ R5年12月中 の申請	29 (内住宅 16)	▲18 (内住宅 ▲11)
	R6年1月～ R6年6月中 の申請	36 (内住宅 12)	▲14 (内住宅 ▲13)

(資料出所：名寄市)

		件数	前年同期比 (件数)
士別市	R5年1月～ R5年6月中 の申請	30 (内住宅 20)	14 (内住宅 9)
	R5年7月～ R5年12月中 の申請	17 (内住宅 10)	▲13 (内住宅 ▲12)
	R6年1月～ R6年6月中 の申請	25 (内住宅 15)	▲5 (内住宅 ▲5)

(資料出所：士別市)

## 新車登録台数

	R5年1月～ R5年6月中の申請		R5年7月～ R5年12月中の申請		R6年1月～ R6年6月中の申請	
	台数	前年 同期比	台数	前年 同期比	台数	前年 同期比
名寄市	261	▲1	284	63	222	▲39
士別市	180	22	184	34	147	▲33
下川町	33	8	29	▲2	31	▲2
美深町						
中川町	78	15	63	11	43	▲35
音威子府村						
剣淵町						
和寒町	47	14	51	11	46	▲1
市町村計	599	58	611	117	489	▲110

(資料出所：一般社団法人日本自動車販売協会連合会旭川支部)

## 労働需給状況

(単位：人・倍ポイント)

年度	月間有効 求職者数(常用)		月間有効 求人数		有効求人倍率	
	人	前年比	人	前年比	率	前年比
H25年	*1,060	▲2.1	*949	27.2	0.90	0.21
H26年	*922	▲13.0	*946	▲0.3	1.03	0.13
H27年	*911	▲1.2	*902	▲4.7	0.99	▲0.04
H28年	*850	▲6.7	*973	7.9	1.14	0.15
H29年	*815	▲4.1	*1,028	5.7	1.26	0.12
H30年	*816	0.1	*1,149	11.8	1.41	0.15
R1年	*759	▲7.0	*1,099	▲4.4	1.45	0.04
R2年	*771	1.6	*1,012	▲7.9	1.31	▲0.14
R3年	*821	6.5	*1,198	18.1	1.46	0.15
R4年	*791	▲3.7	*1,252	4.5	1.58	0.12
R5年	*766	▲3.2	*1,039	▲17.0	1.36	▲0.22

令和6年度

4月	944	5.9	1,022	▲2.4	1.08	▲0.10
5月	901	4.5	986	▲7.8	1.09	▲0.15
6月	847	4.6	944	▲8.6	1.11	▲0.17
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						

\*印は年度の月平均

(資料：ハローワークなよろ)

以上、今回の調査結果をご報告いたします。

本レポートが貴企業(社)のご参考になれば幸甚に存じます。

本調査にご協力いただきました方々に対し心から厚く御礼申し上げますとともに、  
貴企業(社)のご発展を祈念申し上げます。



令和6年8月5日  
名寄祭 北星信金神輿

## ■店舗一覧■

●本 店	〒096-0012	名寄市西2条南5丁目5番地	TEL 01654-2-1113
●美 深 支 店	〒098-2220	中川郡美深町字大通北2丁目1番地	TEL 01656-2-1731
●下 川 支 店	〒098-1207	上川郡下川町錦町52番地	TEL 01655-4-4141
●風 連 支 店	〒098-0506	名寄市風連町仲町93番地2	TEL 01655-3-2504
●中 川 支 店	〒098-2802	中川郡中川町字中川398番地	TEL 01656-7-2541
●音威子府支店	〒098-2501	中川郡音威子府村字音威子府367番地	TEL 01656-5-3331
●旭 川 支 店	〒070-0034	旭川市4条通10丁目左4号	TEL 0166-25-2001
●旭川北支店	〒070-0873	旭川市春光3条9丁目12番11号	TEL 0166-52-7755
●中央通支店	〒096-0034	名寄市西4条北1丁目4番地1	TEL 01654-2-5522
●公園通支店	〒096-0016	名寄市西6条南9丁目1番地61	TEL 01654-3-2332
●ふれあい支店	〒096-0019	名寄市西9条南4丁目10番地1	TEL 01654-3-6611
●永 山 支 店	〒079-8412	旭川市永山2条4丁目3番15号	TEL 0166-48-5533
●士別中央営業部	〒095-0019	士別市大通東6丁目720番地6	TEL 0165-29-2121
●士別中央営業部上士別出張所	〒095-0371	士別市上士別町16線市街	TEL 0165-24-2221
●士別北支店	〒095-0019	士別市大通東1丁目	TEL 0165-23-3171
●朝 日 支 店	〒095-0401	士別市朝日町中央3772番地	TEL 0165-28-2311
●剣 淵 支 店	〒098-0338	上川郡剣淵町仲町32番12号	TEL 0165-34-2106
●和 寒 支 店	〒098-0131	上川郡和寒町字南町103番地の1	TEL 0165-32-2461
●東 光 支 店	〒078-8343	旭川市東光3条4丁目4番24号	TEL 0166-32-2173
●札 幌 支 店	〒060-0002	札幌市中央区北2条西3丁目1番地	TEL 011-252-2080
●円 山 支 店	〒064-0801	札幌市中央区南1条西25丁目1番25号	TEL 011-622-3737
●白 石 支 店	〒003-0023	札幌市白石区南郷通1丁目北5番14号	TEL 011-864-1223

### お問い合わせ先

まごころ、きらり  

**北星しんきん**

〒096-0012  
 名寄市西2条南5丁目5番地  
 北星信用金庫 地域支援部  
 ☎(01654) 2-1111